

キングアガリクス (KA21株) のQOLの改善効果に関する論文要約

唾液 sIgA 分泌速度が低めの成人男女 24 名を対象に、キングアガリクスを含有する食品の QOL 改善効果ならびに安全性を評価することを目的として、12 週間連続摂取するオープン試験を行った。

その結果、唾液中 sIgA 分泌速度に有意な変化は認められなかったが、使用感アンケートでは、抜け毛の量、白髪の数、疲労感・倦怠感、目の疲れ、肩こり、手足の冷え、日中覚醒困難、目覚めの良さのスコアが、それぞれの摂取前に比べて有意に改善していた。これらの結果からキングアガリクスの摂取は、抜け毛、白髪、疲労感・倦怠感、目の疲れ、肩こり、手足の冷え、日中覚醒困難、目覚めの主観的な評価を改善する可能性が示唆された。また、これらの有効性は、アガリクスの主要な有効性成分である β -グルカンだけでなくキングアガリクスに含まれる特徴的な成分の関与も考えられ、更なる研究が必要である。

また、QOL アンケート結果ならびに種々の検査値から安全性に問題がないことが強く示唆された。本研究で用いたキングアガリクスは、菌株を独立行政法人産業技術総合研究所特許生物寄託センターに寄託し、その菌株を使いブラジルで露地栽培されている。現在まで東京薬科大学免疫学教室、順天堂大学医学部、近畿大学医学部、麻布大学獣医学部、東京大学・食の安全研究センターなどでヒト臨床試験を含む安全性・有用性試験を行っており、その研究成果を各種科学誌に論文掲載してきた。近年の研究により、キングアガリクスは、免疫賦活作用が示唆される β -グルカンをハウス栽培アガリクスに比べ 1.5 倍多く含むだけでなく、ビタミン D を多量に含むことが確認されている。これまでの臨床研究から、キングアガリクスの摂取により、ヒトの免疫機能を賦活する結果 (NK 細胞の活性化) などが得られている。これらの知見に本研究結果を加えることによって、キングアガリクスの安全性の高さと食品としての機能性は、さらに強く示唆されたものと考えられることができる。